

福祉タクシー券を交付

障がい福祉課 ☎(235)4813
今年度分の福祉タクシー券を交付します。対象となる障がいの等級などは、障がい福祉課へお問い合わせください。
日 4月1日(土)から(閉庁日除く) **場** 市役所1階8番窓口 **障** 障害者手帳・特定医療費(指定難病)医療受給者証・未使用分の令和4年度福祉タクシー券

屋内プール無料利用券 小学生に配布

文化スポーツ課 ☎(235)4927
市立小学生には小学校で、私立小学生には文化スポーツ課で配布します。利用期間は4月1日(土)～令和6年3月31日(日)です。
場 市内在住の小学生
【利用可能プール】
海老名運動公園屋内プール・北部公園体育館屋内プール・高座施設組合屋内温水プール



妊婦健康診査費用補助券の補助額を増額

子ども育成課 ☎(235)7885
今月から、母子健康手帳と一緒に交付している「海老名市妊婦健康診査費用補助券」の補助額を4,000円増額します。妊婦健康診査費用補助券を交付済みで、4月1日以降に妊婦健康診査を受ける人には案内を発送します。詳細は、子ども育成課へ問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。

令和5年度国民年金保険料 学生納付特例制度の申請を

国保医療課 ☎(235)4596 厚木年金事務所 ☎(223)7171
在学期間中の国民年金保険料を社会人になってから納付できる「学生納付特例制度」の今年度の申請を、4月1日(土)から受け付けます。申請は毎年度必要です。日本年金機構神奈川事務センター(〒220-8557住所不要)への郵送手続きを推奨しています。来庁する場合は、国保医療課へ電話で予約してください。詳細は、同課へお問い合わせください。



お知らせ

4月5日～11日 新入学児童・園児を交通事故から守る運動

地域づくり課 ☎(235)4789
「新入学児童・園児を交通事故から守ろう」をスローガンに、交通安全運動を実施します。また、4月10日(月)は「交通事故死ゼロをめざす日」です。正しい交通マナーを実践しましょう。

「かながわ小児救急ダイヤル」直通電話番号が変更

健康推進課 ☎(235)7880
県の「かながわ小児救急ダイヤル」の直通番号が変更されます。プッシュ回線用(☎#8000)は変わりません。
【4月1日から】
☎050(3490)3742(ダイヤル回線・IP電話)

公園に行こう!

今号の「公園に行こう!」はお休みします。

EBI-LOG エビ・ログ
こんなことがありました 

2/7・15 新消防・救急車両を導入 納車式で交通安全と活躍を祈願

西分署管内に多い狭い道に対応できるコンパクトな消防ポンプ自動車と、新型コロナウイルスなどの感染症に対応する資機材を兼ね備えた高規格救急自動車を新たに導入しました。



2/16～3/14 南部大型防災備蓄倉庫を活用 トルコ・シリア地震を支援

岡山県総社市や、アルピニストの野口 健氏などが企画した、地震の被災地トルコ共和国に寝袋を送るプロジェクトに、市も協力。全国から集まった寝袋を市の大型防災備蓄倉庫に一時保管し、県トラック協会や地元企業の協力を得て羽田空港へ輸送しました。



3/4 97チームが参加 「第17回えびな玉入れ選手権大会」

かごに玉を投げ入れ、タイムを競い合う「えびな玉入れ選手権大会」は3年ぶりの開催と相まって大盛り上がり。おさかなつりゲームなどのミニ緑日や玉入れ体験も、子どもたちに大人気でした。



3/7・8 小学生考案の献立が給食に 「栄養満点!!つけ麺風味噌ラーメン」

小学校の特別給食で大谷小学校6年生の宇井さんが考案した「栄養満点!!つけ麺風味噌ラーメン」を参考にした給食が提供されました。「学校給食献立コンテスト」のレシピ部門で教育長賞を受賞したもので、初めての献立を前に子どもたちはわくわくした様子。笑顔で完食する姿も見られました。

3/9 ギネス世界記録®町おこしニッポン達成の有馬高校へ 公式認定証を届ける

令和4年11月20日の「えびな市民まつり」で有馬高校の生徒とえび～にゃが達成したギネス世界記録®町おこしニッポン「3分間でマスコットが行ったハイタッチ最多数」の公式認定証と公式参加認定証を市から同校に届けました。公式認定証は市役所1階の南側玄関入口にも掲示しています。



第4回 えびな SDGs

持続可能なより良い未来の実現を目指し、できることから始めてみませんか。SDGsの17の目標を毎月1日号で紹介します。

環境政策課 ☎(235)4912

私たちに できること



目標4 世界には小・中学校に通えていない約1億2,000万人以上の子どもたちがいます。「教育」は、さまざまな社会問題と課題を正確に理解し、一人一人が行動するための基礎になります。全ての人が「質の高い教育」を受けられる社会を目指しましょう。

ICT教材サイトを利用する

ICT教材「eboard」の開発・運営目的は、「誰でもどんな環境でも学ぶことをあきらめてほしくない」です。さまざまな理由から学習困難な状況にある全ての子どもを対象に、無料で映像授業とデジタルドリルを提供しています。サイトの利用や寄付で運営を支えることができます。



eboard ホームページ

文房具などを寄付する

寄付された文房具やランドセルなどを、今必要としている発達途上国の子どもたちへNPO法人が届けています。まだ使える文房具・ランドセルなどの寄付や、活動への参加が支援につながります。



NPO法人 JIYU ホームページ